

50kg 級超小型人工衛星「ChubuSat-1」

打ち上げ成功

名古屋大学太陽地球環境研究所の田島教授、大同大学工学部総合機械工学科の溝口教授、および中部地方の航空宇宙産業中小企業連合体である MASTT からなるグループが開発した 50kg 級の超小型人工衛星の第一号機である「ChubuSat-1」をロシアのドニエプルロケットを使ってロシア国内のヤスネ宇宙基地から 2014 年 11 月 6 日 16 時 35 分(日本時間)に打ち上げ、最初の日本上空通過時に信号の受信に成功しました。

小型の人工衛星が実用化されると、これまでよりはるかに低い費用（例えば 1/100 以下）で宇宙からの観測が可能になります。

なお、詳細は初期運用が終了する約一か月後に改めて報告する予定です。

※ **MASTT**：中部航空宇宙産業中小企業連合体（**Monozukuri Aerospace Support Technology Team**）中部地方の中小企業連合体。航空宇宙分野で培った高い技術力により、主にロケット推進システムなどを製造している。